

鈴鹿川水系安楽川 洪水浸水想定区域図 [浸水継続時間] (想定最大規模)

1 説明文

- (1) この図は、鈴鹿川水系安楽川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
- (2) この浸水継続時間は、指定時点の安楽川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により安楽川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所
- (2) 指定年月日 平成 29 年 6 月 2 日
- (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 63 号
- (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 2 項
- (5) 対象となる水位周知河川
 - ・ 鈴鹿川水系安楽川（実施区間）
 - 左岸：三重県亀山市田村町字東沢 1745 番の 4 地先から鈴鹿川への合流点まで
 - 右岸：三重県亀山市田村町字蜂ヶ尻 772 番の 2 地先から鈴鹿川への合流点まで
- (6) 指定の前提となる降雨 鈴鹿川流域の 6 時間総雨量 391mm
- (7) 関係市町村 鈴鹿市、亀山市
- (8) その他計算条件等
 - ①この図は、安楽川の水位周知区間で破堤した場合の浸水継続時間を図示しています。
 - ②この図は、安楽川の鈴鹿川合流点より上流において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
 - ③氾濫計算は、対象区間をおよそ 25m 間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。